

静岡県・磐田市立総合病院病理専門研修プログラム (磐田市立総合病院)

1 はじめに

当院は静岡県・中東遠2次医療圏で常勤病理専門医を有する唯一の病院であり、日本医療機能評価機構による2013年の病院機能評価において、病理診断科は最も高い評価である「S評価」を受けました。2018年の時点で、3名の指導医が在籍しています。このうち1名は2017年まで当院で後期研修を行っており、研修期間中に、日常業務を通じて診断能力の向上を図るとともに、院内のCPCやカンファレンスを通じてプレゼンテーション能力も向上させました。そして、15回以上の地方会や病理学会総会において口頭発表を行い、中部支部の学術集会（中部交見会）では学術奨励賞を受賞しています。また、筆頭著者として日本病理学会誌上で論文を発表するとともに、共著者として英文雑誌上に複数の論文を発表しています。さらに、浜松医科大学の社会人大学院生として実験病理に関わり、学位取得を目指しています。このように、当院では既に研修に関する実績があり、専攻医が病理医として成長していくための環境は整っています。また、各専攻医のニーズに合ったテーラーメイドプログラムにも対応できます。是非、本プログラムに参加し、我々と共に学び、幅広い知識を得て専門医の資格を取得していただくよう、祈っています。



プログラム統括責任者 磐田市立総合病院 病理診断科部長 鈴木潮人

2 目的

本邦の医療における地域格差の問題が焦点となっており、地方における医療圏の充実が求められています。同時に、医療における病理医の役割はますます重要になっていますが、現在、静岡県・中東遠2次医療圏では常勤病理専門医を有する病院は磐田市立総合病院のみです。そこで、地域の実情に応じたきめ細やかな医療を提供する体制を確保するために、医療圏の中核病院である磐田市立総合病院を基幹とした、魅力的で、しかも各専攻医のニーズにあったテーラーメイドプログラムを心がけております。本プログラムでは、磐田市立総合病院病理診断科を基幹施設とし、3年間は、浜松医科大学、聖隷浜松病院の専門研修連携施設をローテートして病理専門医資格の取得を目指します。各施設をまとめると症例数は豊富かつ多彩で、剖検数も十分確保されています。指導医も各施設に揃っています。カンファレンスの場も多くあり、病理医として成長していくための環境は整っています。本病理専門研修プログラムに是非参加し、知識のみならず技能や態度にも優れたバランスの良い病理専門医の育成をします。

3 研修病院群

(1) 専門研修基幹施設

磐田市立総合病院

(2) 専門研修連携施設

浜松医科大学、聖隷浜松病院

4 専攻医受入数

1名

5 研修期間

3年間

6 研修計画（例）

パターン1（基本パターン、基幹施設を中心として1年間のローテーションを行うプログラム）

1年目；磐田市立総合病院。剖検（CPC含む）と基本的な病理診断と細胞診、関連法律や医療安全を主な目的とする。大学院進学可能（以後随時）

2年目；浜松医科大学など1群専門研修連携施設。剖検（CPC含む）とやや専門的な病理診断および基本的な細胞診を主な目的とする。この年次までに剖検講習会受講のこと。可能であれば死体解剖資格も取得する。

3年目；磐田市立総合病院、必要に応じその他の研修施設。剖検（CPC含む）と専門的な病理診断および専門的な細胞診を主な目的とする。この年次までに細胞診講習会、分子病理講習会、医療倫理講習会、医療安全講習会、医療関連感染症講習会など、専門医試験受験資格として必要な講習会を受講のこと。

パターン2（1群連携施設で専門研修を開始するパターン。2年目は基幹施設で研修するプログラム）

1年目；浜松医科大学など1群専門研修連携施設。剖検（CPC含む）と基本的な病理診断と細胞診、関連法律や医療安全を主な目的とする。大学院進学可能（以後随時）

2年目；磐田市立総合病院。剖検（CPC含む）とやや専門的な病理診断および基本的な細胞診を主な目的とする。この年次までに剖検講習会受講のこと。可能であれば死体解剖資格も取得する。

3年目；磐田市立総合病院。必要に応じて浜松医科大学など1群専門研修連携施設。剖検（CPC含む）と専門的な病理診断および専門的な細胞診を主な目的とする。この年次までに細胞診講習会、分子病理講習会、医療倫理講習会、医療安全講習会、医療関連感染症講習会など、専門医試験受験資格として必要な講習会を受講のこと。

パターン3（基幹施設で研修を開始し、2、3年目は連携施設で研修を行うプログラム）

1年目；磐田市立総合病院。剖検（CPC含む）と基本的な病理診断と細胞診、関連法律や医療安全を主な目的とする。大学院進学可能（以後随時）

2年目；浜松医科大学など1群専門研修連携施設。剖検（CPC含む）とやや専門的な病理診断および基本的な細胞診を主な目的とする。この年次までに剖検講習会受講のこと。可能であれば死体解剖資格も取得する。

3年目；聖隷浜松病院など1群専門研修連携施設、必要に応じその他の研修施設。剖検（CPC含む）と専門的な病理診断および専門的な細胞診を主な目的とする。この年次までに細胞診講習会、分子病理講習会、医療倫理講習会、医療安全講習会、医療関連感染症講習会など、専門医試験受験資格として必要な講習会を受講のこと。

7 問い合わせ先

磐田市立総合病院医療支援課人事管理グループ 西藤 内 5007